

令和元年6月17日現在

機関番号：13301

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2018

課題番号：26350741

研究課題名(和文) 日本武道・西洋武術における日独比較研究

研究課題名(英文) A Research and Comparison of Japanese and Western Martial Arts in Japan and Germany

研究代表者

Bittmann Heiko (Bittmann, Heiko)

金沢大学・国際機構・教授

研究者番号：40334792

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、日本武道・西洋武術を課題とした日独の比較研究を行うため、日本の武道及びヨーロッパ、とりわけドイツの剣術や格闘術などの武術成立過程にある思想、文化的、そして社会的要因について調査・検討するものであった。この研究で得られたデータや史料に基づき、日本とドイツの武道・武術の実情及びそれぞれの国の文化的背景や思想的価値観など、普遍的要素及び相違点について深めることができた。また、この研究成果の一環として、学術書籍2冊を仕上げ、学術論文も4点をまとめた。加えて、数回にわたって国際学会発表も行なった。さらに、この研究で得られたデータや史料は、今後の研究にも大いに役に立つと確信している。

研究成果の学術的意義や社会的意義

個々の文化圏に観られる武道・武術についての研究の大半は、それぞれの武道・武術において個別に焦点を絞ったものである。それに対して本研究は、日本とドイツの2文化圏が所有する武道・武術の歴史及び現状を明らかにしつつ、比較研究するものであり、その観点も、文化、思想、技法の多岐にわたるものであった。また、本研究は、武道・武術の根底にある普遍性、およびその相違点をも検証するものであり、その普遍性および相違点に関する解明、およびそれに伴う国際研究交流・情報交換は、学術的な人間研究として、国境を超えた相互理解につながり、国際社会においても大きな意義があったと確信している。

研究成果の概要(英文)：This study focused on research into and comparisons of Japanese and Western (especially German) martial arts, like swordsmanship and bare hand combat. Accordingly, investigations and examinations were conducted from a philosophical, cultural and social point of view. Through the research data and historical sources which could be obtained, academic knowledge about the conditions of martial arts in Japan and Germany, the cultural values and philosophical background of martial arts in both countries, as well as their similarities and differences could be deepened. As a result of this research two academic books, four articles and several (oral) presentations at international sports science and/or martial arts congresses were published. Furthermore, the research data and historical sources, which could be obtained through this research, will be helpful for further studies.

研究分野：日本学・スポーツ科学

キーワード：日本武道 西洋武術 中世剣術 居合道 杖道 空手道 柔道 格闘技

## 1. 研究開始当初の背景

(1)本研究を開始するまでは、主に空手道の「歴史」や「教え」に注目した研究を行なった。その結果、剣術の名著である17-18世紀の沢庵宗彭著の『不動智神妙録』、柳生宗矩著の『兵法家伝書』、宮本武蔵著の『五輪書』などの「武道書」あるいは「伝書」の類などが、現代武道の本質とされる「心技体」の基盤作りに、多大な影響を及ぼしたということがわかった。また、剣の道に関しては、佚斎樗山著の『猫之妙術』と『天狗藝術論』や宮本武蔵の『兵法三十五箇条』や古藤田俊定『一刀斎先生剣法書』などの著書の翻訳・解釈に取り組むことにより、17-18世紀の「伝書」や「武道書」が、上述したような現代武道の基盤的成立に大きく関与していることが確認できた。

(2)日本武道の研究を継続するうち、ある疑問がわいてきた：「日本の武道成立の背景には、上記のような要因がある。それでは、ヨーロッパの場合はどうなのか」ということであった。この疑問への答えを求めるために、14世紀始めからのヨーロッパ、とりわけドイツ固有の剣術や格闘術などの武術成立の過程にある思想、文化的、そして技術的決定要因を明らかにする必要がある。また、日本武道の成立要因と比較することにより、武術・武道の普遍的特徴、または相違点を知ることにつながると考えられた。

(3)さらに、それぞれの国では、武道・武術はどのような状況にあるか、どのように稽古されているか、どのような観点から、何が大切にされているかを調査する価値があると考えた。

## 2. 研究の目的

(1)本研究の目的は、日本武道・西洋武術の比較研究である。すなわち、日本の武道及びヨーロッパ、とりわけドイツの剣術や格闘術などの武術成立過程にある思想、文化的、そして社会的要因、さらに日本とドイツの武道・武術実情及びそれぞれの国の文化的背景や思想的価値観など、普遍的要素及び相違点について調査・検討するものである。

(2)そのために、日本武道文献及び主にドイツ語圏の図書館、文書館や博物館に所蔵されている14世紀以降の歴史上の技法や人物、競技会に関する第一次史料及び関連第二次文献資料を調査・収集する。これらの内容を分析するために、翻訳・解読作業を行う。さらに、日本武道とドイツでの武術をカメラで撮影・分析する。詳しくは「3. 研究の方法」を参照。

(3)具体的には、日本武道及びドイツ武術の歴史的発展とその要因を見定め、それぞれの国の武道・武術の現状を把握した上、これらの相違点、または普遍的特徴を明らかにする。

## 3. 研究の方法

(1)平成26年度は、まず本研究に必要な物品としてカメラやビデオ・カメラを購入した。

(2)研究期間内の平成26年度から30年度までは、下記の図書館ないしは博物館で、主にドイツ語圏における西洋武術の調査、及び第一次史料及び関連第二次文献資料の閲覧・収集を行なった。また、これらの分析に努めた。

平成26年度：「バイエルン州立図書館」(Bayerische Staatsbibliothek, ミュンヘン市)。

平成 27 年度：「アウグスブルク大学附属図書館の資料室」(Universitätsbibliothek Augsburg Handschriftenlesesaal)，アウグスブルク大学附属図書館及び「エスリングェン市立図書館」(Stadtbücherei Esslingen)。

平成 28 年度：「Kunstkammer & Schatzkammer Wien」，「Albertina Graphische Sammlung Wien」及び「Österreichische Nationalbibliothek (Sammlung von Handschriften und alten Drucken)」(オーストリア，ウィーン市)。

平成 29 年度：「ステイッベルト博物館」(Museo Stibbert, イタリア，フィレンツェ市) 及び「ドイツ刃物博物館」(Deutsches Klingemuseum, ソリンゲン市)。

平成 30 年度：「Herzogin Anna Amalia 図書館」(ヴァイマル市) 及びエアフルト大学「ゴータ研究図書館 (Forschungsbibliothek Gotha)」。

(3)2010 年代に入り，ヨーロッパ中世武術に関する研究関心が急速に増大し，学術的研究組織の設立，学術誌の刊行等が相次いでいる。それらの全体的な把握に努めた。

(4) 研究期間内には，数回に渡って，西洋武術の理解を深めるために不可欠であると思われるドイツ中世剣術の稽古を現地で見学した。その際，指導に当たった先生方と西洋武術の技術や思想的な背景について議論を交わした。さらに，ドイツ中世剣術の稽古風景を撮影し，参加者の修行動機などについても聞き取り調査をした。また，ドイツ中世剣術のトーナメント(競技会)を見学・撮影した。また，スポーツ科学の研究者及び西洋武術の専門家とコンタクトをとり，ドイツ中世武術に関する資料紹介と解説を受け，議論を深めた。

(5) 日本武道を研究するために，研究期間内の 26 年度から 30 年度までの間は，全日本剣道連盟が主催する居合道と杖道の全国的な講習会に参加した。例えば，現代の全日本剣道連盟の居合道と古流居合を両方体験し，技術的な面に止まらず，理論的な研究のためにも有益なものとなった。また，沖縄をはじめ，全国で空手道の歴史や教えに関する研究を継続し，研究者や専門家と意見交換を行なった。

(6) 日本武道の研究のために，研究期間内に，主に第二次文献資料を収集し，翻訳及び分析に努めた。

(7) なお，平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月の間は，「沖縄県立芸術大学」にて，サバティカル研修を利用して，琉球王国時代の歴史や琉球武術に関する調査・研究を行った。

(8) また，研究期間内に，北陸地方(石川県・福井県)で空手道と柔道の修行者にそれぞれの「稽古を始めた動機，その動機の変化や魅力」についてのアンケート調査を実施した。さらに，その回答結果をドイツでの修行者と比較研究した。

#### 4. 研究成果

(1) 本研究の一つの成果は，日本の室町時代以降及び沖縄県の琉球王国時代以降，そしてドイツの中世以降の武道・武術に関する第一次史料及び関連第二次文献資料を調査及び収集すること，またこれらの分析ができたことであった。

(2) また，本研究によって，上記の武道・武術の内容を実践に取り込んでいる実技の実際を調査及び(比較)検討することが可能になった。

(3) この研究で得られたデータや史料に基づき，日本とドイツの武道・武術の歴史的成立過程，

および実情・現状，また武道・武術に限らずそれぞれの国の文化的背景や思想的・社会的価値観など，普遍的要素及び相違点について深めることができた。

(4) 研究成果の一環として，学術書籍 2 冊を仕上げ，学術論文も 4 点をまとめた。加えて，3 回にわたって国際学会発表も行なった。

(5) 本研究のもう一つの重要な成果は，研究期間内に得られたデータ，史料や第二次文献資料は，今後の研究にも大いに役に立つと確信している。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 (計 3 件)

① BITTMANN, Heiko; MEYER, Martin: *Why do People Train Martial Arts? Participation Motives of German and Japanese Karateka*. *Societies* 8 (4), 128, 2018/12, 1-19. DOI: [10.3390/soc8040128](https://doi.org/10.3390/soc8040128)

② ビットマン ハイコ，「琉球王国時代における禁武政策と空手道史」，『沖繩文化』第 51 巻 2 号 (122 号)，2018/03，94-124

③ BITTMANN, Heiko: *Shimizu Toshiyuki – Ein früher japanischer Meister des Karatedō*. Bunbu Forschungskreis (ed.): *Studien zur Kampfkunst in Japan. Bunbu Kenkyu*. Augsburg: Bunbu Forschungskreis, 2017/4, 29-53.

〔学会発表〕 (計 3 件)

① BITTMANN, Heiko; MEYER, Martin: *Motivation and Fascination Categories of Japanese Karateka and Judoka*. Jahrestagung der dvs-Kommission „Kampfkunst und Kampfsport“: Das Denken, Erfahren und Trainieren des Körpers in Kampfkunst und Kampfsport (Gent, Belgium), 2018.11.16.

② BITTMANN, Heiko; MEYER, Martin: *Why Do People Train Martial Arts? Participation Motives of German and Japanese Karateka*. Cultures of Combat (Ethnography and Qualitative Research Conference, Bergamo, Italy), 2018.6.8.

③ BITTMANN, Heiko; MEYER, Martin: *Why Do People Train Martial Arts? Participation Motives of German and Japanese Karateka*. 10. German - Japanese Symposium (Münster, Germany), 2018.3.13.

〔図書〕 (計 2 件)

① BITTMANN, Heiko: *Geschichte und Lehre des Karatedō*, Heiko Bittmann, 2017, 264.

(空手道の歴史と教えに関する書籍)

② 藤井雅人，ビットマン ハイコ，他 (編著)：『体育・スポーツ・武術の歴史にみる「中央」と「周縁」—国家・地方・国際交流—』，道和書院，2015，339